2025年度
決算説明会資料

2026年5月19日

東武鉄道株式会社

目次

Ⅰ.決算サマリ	P 2
Ⅱ.2025年度 実績	P 7
Ⅲ.2026年度 計画	P18
Ⅳ.資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について	P27
Ⅴ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進	P30
Ⅵ.持続可能な経営の実現に向けて	P47
appendix	P50

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

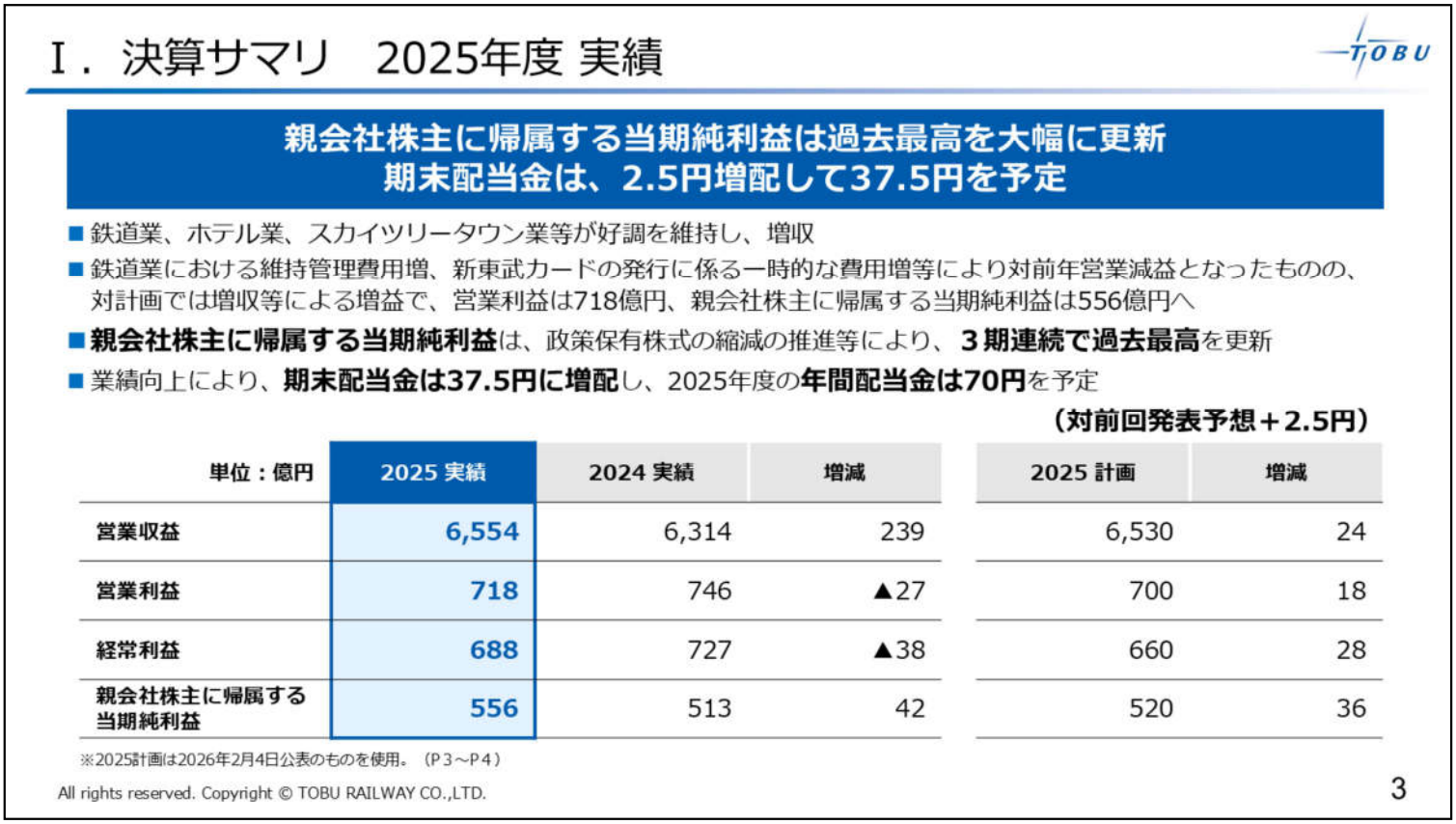
社長の都筑でございます。よろしくお願いいたします。

それでは弊社ホームページにも掲載いたしました「2025年度 決算説明会資料」をご覧下さい。
１ページ目、 目次にございますとおり、
「Ⅰ．決算サマリ」から、
「Ⅵ．持続可能な経営の実現に向けて」まで、項目順にご説明をいたします。
また、最後に質疑の時間を設けておりますが、
詳細につきましては、質疑に入る前に、事務局よりご説明いたします。

それでは、資料に沿ってご説明いたします。

Ⅰ.決算サマリ

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.



Ⅰ．決算サマリ　2025年度 実績

親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を大幅に更新
期末配当金は、2.5円増配して37.5円を予定

- 鉄道業、ホテル業、スカイツリータウン業等が好調を維持し、増収
- 鉄道業における維持管理費用増、新東武カードの発行に係る一時的な費用増等により対前年営業減益となったものの、対計画では増収等による増益で、営業利益は718億円、親会社株主に帰属する当期純利益は556億円へ
- **親会社株主に帰属する当期純利益**は、政策保有株式の縮減の推進等により、**３期連続で過去最高**を更新
- 業績向上により、**期末配当金は37.5円に増配**し、2025年度の**年間配当金は70円**を予定

（対前回発表予想＋2.5円）

単位：億円	2025 実績	2024 実績	増減	2025 計画	増減
営業収益	6,554	6,314	239	6,530	24
営業利益	718	746	▲27	700	18
経常利益	688	727	▲38	660	28
親会社株主に帰属する当期純利益	556	513	42	520	36

※2025計画は2026年2月4日公表のものを使用。（P３～P４）

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

3

３ページをご覧ください。連結決算のサマリでございます。

2025年度決算でございますが、
鉄道業では、定期・定期外とも需要は底堅く、ホテルも高稼働・高単価を維持するなど、
主要事業はいずれも堅調に推移しております。

利益面では、前年に比べて減益となりましたが、
主な要因は鉄道業における修繕費や人件費といった費用の増、新東武カード発行に伴う一時的な費用の増などによるものでございます。
セグメント毎の内訳は次ページでご説明いたします。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式縮減の推進などにより、
３期連続で過去最高を更新いたしました。

下の表の右側に計画比を記載してございますが、
計画比で増収増益となったことなど業績向上により、
１株あたりの期末配当金を２円50銭増配いたしまして、年間配当金は70円を予定しております。

Ⅰ．決算サマリ　2025年度 実績 ― セグメント別

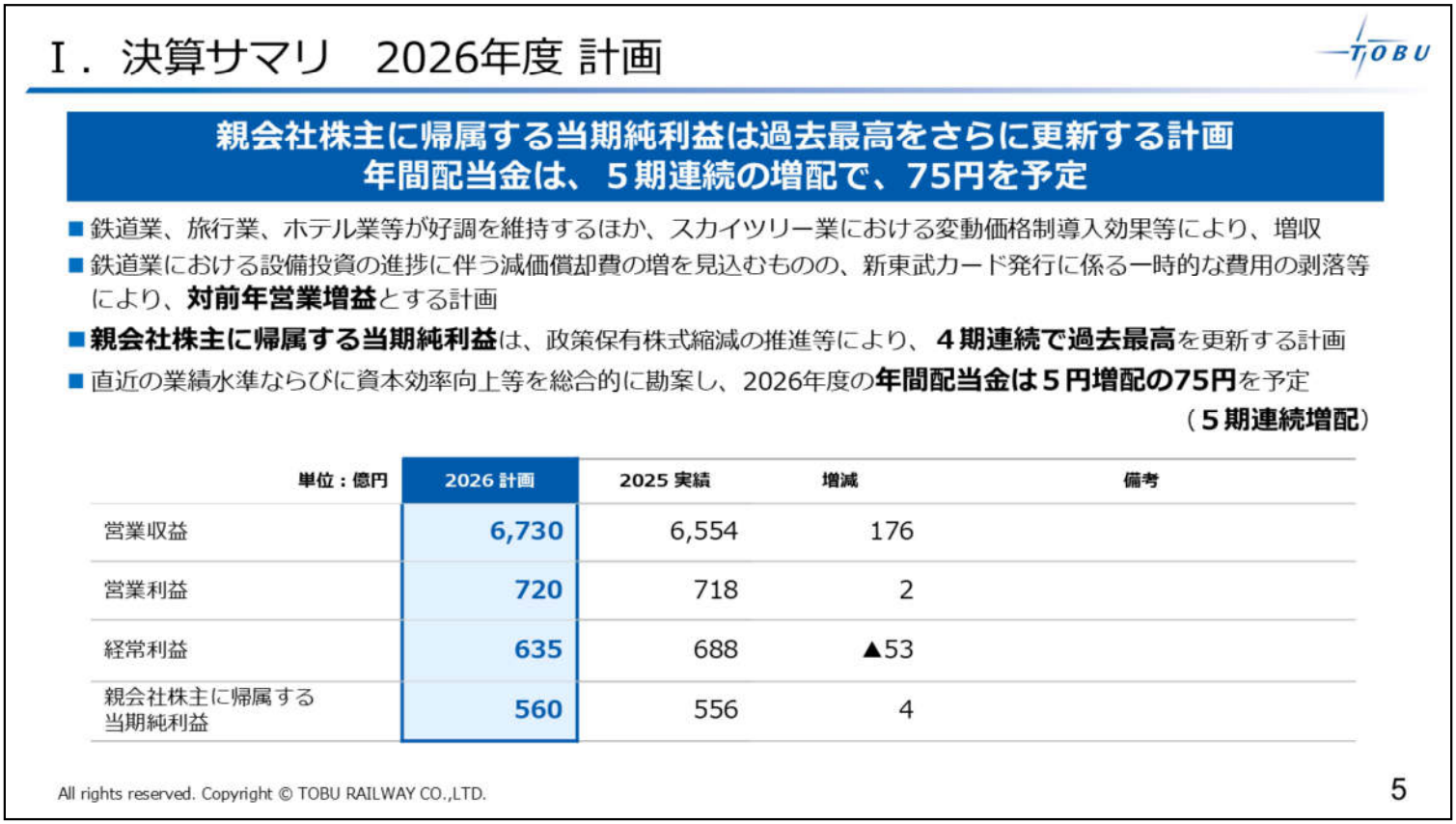
	単位：億円	2025 実績	2024 実績	増減	増減理由	2025 計画	増減
運輸事業	営業収益	2,186	2,160	25	●鉄道業、バス・タクシー業で増収	2,180	6
	営業利益	276	312	▲36	●鉄道業の維持管理費用の増加等により、減益	283	▲7
レジャー事業	営業収益	1,895	1,755	140	●旅行業、ホテル業を中心に増収	1,894	1
	営業利益	184	172	12	●増収効果等により、増益	182	2
不動産事業	営業収益	590	599	▲8	●分譲業は減収減益	582	8
	営業利益	158	147	11	●賃貸業、スカイツリータウン業が増収増益であり、全体でも増益	146	12
流通事業	営業収益	1,761	1,726	34	●百貨店業、ストア業で増収増益	1,752	9
	営業利益	60	75	▲15	●新東武カードの発行費用が一時的に増加し、全体では減益	55	5
その他事業	営業収益	926	872	53	●受注工事の増加等により、増収増益	918	8
	営業利益	69	63	6		59	10
調整額	営業収益	▲806	▲800	▲6		▲796	▲10
	営業利益	▲30	▲25	▲5		▲25	▲5
合計	営業収益	6,554	6,314	239		6,530	24
	営業利益	718	746	▲27		700	18

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

4

次の４ページは、セグメント別に記載したサマリでございます。

各セグメントに関し、前年比で概要をご説明いたします。
運輸事業は、営業収益 2,186億円、営業利益は 276億円でございます。
鉄道業、バス・タクシー業で増収、
営業利益は、鉄道業において、修繕費等の維持管理費用が増加したため、減益となりました。
次に、レジャー事業は、営業収益 1,895億円、営業利益は 184億円でございます。
旅行業で、大阪・関西万博案件や企業需要を着実に取り込んだほか、
ホテル業で、高稼働率、高単価の販売ができたことなどがあり、増収増益となりました。
不動産事業は、営業収益 590億円、営業利益 158億円でございます。
分譲業ではマンション販売戸数減などにより減収となりましたが、
賃貸業において新規物件の通年寄与などがあり、またスカイツリータウン業において、
東京ソラマチが過去最高となる600億円の売上高を達成するなど好調であったことから、
増益を確保いたしました。
流通事業は、営業収益 1,761億円、営業利益60億円でございます。
百貨店業での店舗リニューアル、ストア業での新店・既存店の売上増などにより、増収となりましたが、新東武カード発行に係る一時的な費用が発生したため、減益となりました。
その他事業は、営業収益 926億円、営業利益は 69億円でございます。
建設業の完成工事の増加などがあり、増収増益でございました。



続いて、５ページは、2026年度の計画でございます。

2026年度に関しましては、鉄道業、ホテル業などが好調を維持するほか、
スカイツリー業における変動価格制導入効果などもあり、
営業収益は、 176億円増の 6,730億円、
営業利益は、増収に加え、新東武カード発行に係る一時的な費用の剥落などもあり、
2億円増益の 720億円となる見込みでございます。
経常利益は、支払利息の増などにより減益となる見込みですが、
親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式の縮減の推進などにより、
4億円増の 560億円を見込んでおり、４期連続で過去最高を更新する見込みでございます。

このような業績水準、また資本効率向上なども勘案し、
2026年度の年間配当金は、１株あたり５円増配して、５期連続増配となる７５円を予定してございます。

Ⅰ．決算サマリ　2026年度 計画 ー セグメント別

	単位：億円	2026 計画	2025 実績	増減	増減理由
運輸事業	営業収益	2,214	2,186	28	●鉄道業、バス・タクシー業で増収
	営業利益	243	276	▲33	●鉄道業の減価償却費の増加等により、減益
レジャー事業	営業収益	1,992	1,895	97	●旅行業、ホテル業、スカイツリー業を中心に増収
	営業利益	193	184	9	●増収効果等により、増益
不動産事業	営業収益	632	590	42	●賃貸業で増収増益
	営業利益	158	158	0	●分譲業の減益等があったが、前年並みの利益を確保
流通事業	営業収益	1,754	1,761	▲7	●百貨店業、ストア業で減収
	営業利益	80	60	20	●ストア業の利益率改善、新東武カードの発行費用の大幅減等により、増益
その他事業	営業収益	950	926	24	●受注工事の増加等により、増収増益
	営業利益	71	69	2	
調整額	営業収益	▲812	▲806	▲6	
	営業利益	▲25	▲30	5	
合計	営業収益	6,730	6,554	176	
	営業利益	720	718	2	

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.
6

次の６ページは、セグメント別に記載した2026年度の計画でございます。

前年比で概要をご説明いたします。
まず、運輸事業は、営業収益 2,214億円、営業利益 243億円でございます。
鉄道業において、定期・定期外ともに増収を見込み、バス・タクシー業においても、乗合収入増による増収を見込むものの、主に鉄道業の減価償却費増などがあり、増収減益としております。

次に、レジャー事業は、営業収益 1,992億円、営業利益 193億円でございます。
ホテル業が好調を維持するほか、旅行業において企業需要の取込みによる国内旅行の増加などを見込み、
またスカイツリー業においては変動価格制導入による増収を見込んでいることなどから、
増収増益としております。
不動産事業は、営業収益 632億円、営業利益 158億円でございます。
賃貸業は、グループ会社における販売用不動産の売却などにより増収増益を計画しており、
分譲業が減益となるものの、不動産事業としては前年並みの利益を確保できる見込みでございます。
流通事業は、営業収益 1,754億円、営業利益 80億円でございます。
百貨店業において、フロア改装などにより集客に努めるものの、近隣商業施設のリニューアルオープンなどがあり、またストア業において不採算店舗の閉鎖により減収を見込んでおります。
一方、ストア業の利益率改善や前年度における新東武カード発行に係る費用の剥落などがあり、
大幅な増益となる見込みです。
その他事業は、営業収益 950億円、営業利益 71億円でございます。
建設業における工事受注額の増加を見込んでおり、増収増益の計画でございます。

Ⅱ.２０２５年度 実績

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅱ．2025年度 実績 ― 連結子会社・持分法適用会社数

連結子会社数	2025.3	増加	減少	2026.3	備考
運輸	27	-	-	27	
レジャー	14	-	-	14	
不動産	3	-	-	3	
流通	8	-	-	8	
その他	15	1	-	16	2025.5　玉紙工業㈱　株式取得による増
合計	67	1	-	68	

持分法適用会社数	2025.3	増加	減少	2026.3	備考
運輸	1	-	-	1	
レジャー	2	-	-	2	
不動産	-	-	-	-	
流通	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	
合計	3	-	-	3	

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

8

８ページをお願いいたします。
８ページからは、2025年度の決算についての説明でございます。

８ページは、連結対象会社の異動状況でございますが、記載のとおりでございます。

次の９ページ の連結損益計算書、
10ページ のセグメント別営業収支につきましては、
先程、ご説明いたしましたので、11ページをお願いいたします。

Ⅱ．2025年度 実績 ― 連結損益計算書

単位：百万円	2025 実績	2024 実績	増減	備考	2025 計画	増減
営業収益	655,435	631,461	23,974	運輸 +2,591 レジャー +14,021 不動産 ▲846 流通 +3,494 その他 +5,355	653,000	2,435
営業利益	71,861	74,604	▲2,742	運輸 ▲3,641 レジャー +1,204 不動産 +1,147 流通 ▲1,553 その他 +615	70,000	1,861
経常利益	68,831	72,716	▲3,885		66,000	2,831
特別利益	19,370	13,639	5,730		-	-
特別損失	8,291	10,448	▲2,156		-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	55,620	51,330	4,290		52,000	3,620
売上高営業利益率	11.0%	11.8%	▲0.8P		10.7%	0.3P
営業利益ROA※	4.0%	4.3%	▲0.3P		3.9%	0.1P
ROE※	9.5%	9.4%	0.1P		9.0%	0.5P
減価償却費	55,213	53,539	1,673		55,000	213
EBITDA	127,075	128,144	▲1,068		125,000	2,075

※ 営業利益ROA=連結営業利益÷｛(期首総資産＋期末総資産）÷2｝
※ ROE=親会社株主に帰属する当期純利益÷｛(期首自己資本＋期末自己資本）÷2｝
※ 2025計画は2026年2月4日公表のものを使用。（P9～P17）

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅱ．2025年度 実績 ― セグメント別営業収支

	単位：百万円	2025 実績	2024 実績	増減	2025 計画	増減
運輸事業	営業収益	218,646	216,054	2,591	218,000	646
	営業利益	27,644	31,285	▲3,641	28,300	▲656
レジャー事業	営業収益	189,584	175,563	14,021	189,400	184
	営業利益	18,446	17,242	1,204	18,200	246
不動産事業	営業収益	59,075	59,921	▲846	58,200	875
	営業利益	15,892	14,745	1,147	14,600	1,292
流通事業	営業収益	176,135	172,641	3,494	175,200	935
	営業利益	6,004	7,558	▲1,553	5,500	504
その他事業	営業収益	92,645	87,290	5,355	91,800	845
	営業利益	6,955	6,339	615	5,900	1,055
調整額	営業収益	▲80,652	▲80,010	▲642	▲79,600	▲1,052
	営業利益	▲3,081	▲2,567	▲514	▲2,500	▲581
合計	営業収益	655,435	631,461	23,974	653,000	2,435
	営業利益	71,861	74,604	▲2,742	70,000	1,861

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅱ．2025年度 実績 ― 連結貸借対照表

単位：百万円	2025 実績	2024 実績	増減	備考
流動資産	194,787	176,839	17,948	
固定資産	1,668,775	1,576,361	92,413	
資産合計	1,863,562	1,753,200	110,361	
流動負債	475,985	438,733	37,251	
固定負債	765,350	753,713	11,636	
負債合計	1,241,335	1,192,447	48,887	
純資産合計	622,227	560,753	61,474	
負債純資産合計	1,863,562	1,753,200	110,361	
自己資本比率	33.0%	31.6%	1.4P	
有利子負債残高	789,673	780,253	9,419	
有利子負債/EBITDA倍率	6.2	6.1	0.1P	
設備投資	102,713	95,330	7,383	

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

11

11ページは、バランスシートの状況でございます。
こちらは前期末との比較でご説明いたします。

資産合計については、 1,103億円増の 1兆8,635億円。
これは、主に固定資産の取得によるものです。

負債合計については、 488億円増の 1兆2,413億円となりました。
主に、有利子負債の増によるものでございます。

純資産合計については、 614億円増の 6,222億円となりました。
主に当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増によるものでございます。

下から３行目、有利子負債残高についてですが、前期末から 94億円増加し、7,896億円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、前期末より 1.4ポイント上昇し、 33%でございます。

Ⅱ．2025年度 実績 ― 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円	2025 実績	2024 実績	増減	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	106,640	90,072	16,567	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲82,720	▲86,778	4,057	固定資産の取得による支出＋2,304
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲14,652	321	▲14,973	
現金及び現金同等物の増減額	9,271	3,677	5,593	
現金及び現金同等物の期末残高	44,207	34,936	9,271	

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

12ページは、連結キャッシュ・フローの状況でございますが、
記載のとおりでございますので、13ページをお願いいたします。

Ⅱ．2025年度 実績 ― 運輸事業

単位：百万円	2025 実績	2024 実績	増減	備考	2025 計画	増減
営業収益	218,646	216,054	2,591		218,000	646
鉄道	164,272	161,769	2,503		163,800	472
その他	54,373	54,285	87	バス・タクシー業 +956 貨物運送業 ▲858	54,200	173
営業利益	27,644	31,285	▲3,641		28,300	▲656
鉄道	23,583	26,947	▲3,363		24,400	▲817
その他	4,060	4,337	▲277	バス・タクシー業 ▲558 貨物運送業 +281	3,900	160
営業利益ROA	2.7%	3.2%	▲0.5P		2.8%	▲0.1P
減価償却費	32,740	31,942	798		32,600	140
EBITDA	60,385	63,227	▲2,842		60,900	▲515
設備投資	53,191	42,785	10,406		56,200	▲3,009

東武鉄道 旅客人員（単位：百万人）	2025 実績	2024 実績	2025 計画
定期	542	533	541
定期外	335	325	335
（特急）	7	7	7
合計	877	858	876

東武鉄道 旅客収入（単位：百万円）	2025 実績	2024 実績	2025 計画
定期	61,714	60,988	61,616
定期外	87,593	84,843	87,401
（特急）	7,609	7,279	7,592
合計	149,307	145,831	149,017

※定期外旅客収入は、特急料金、座席指定料金を含む。

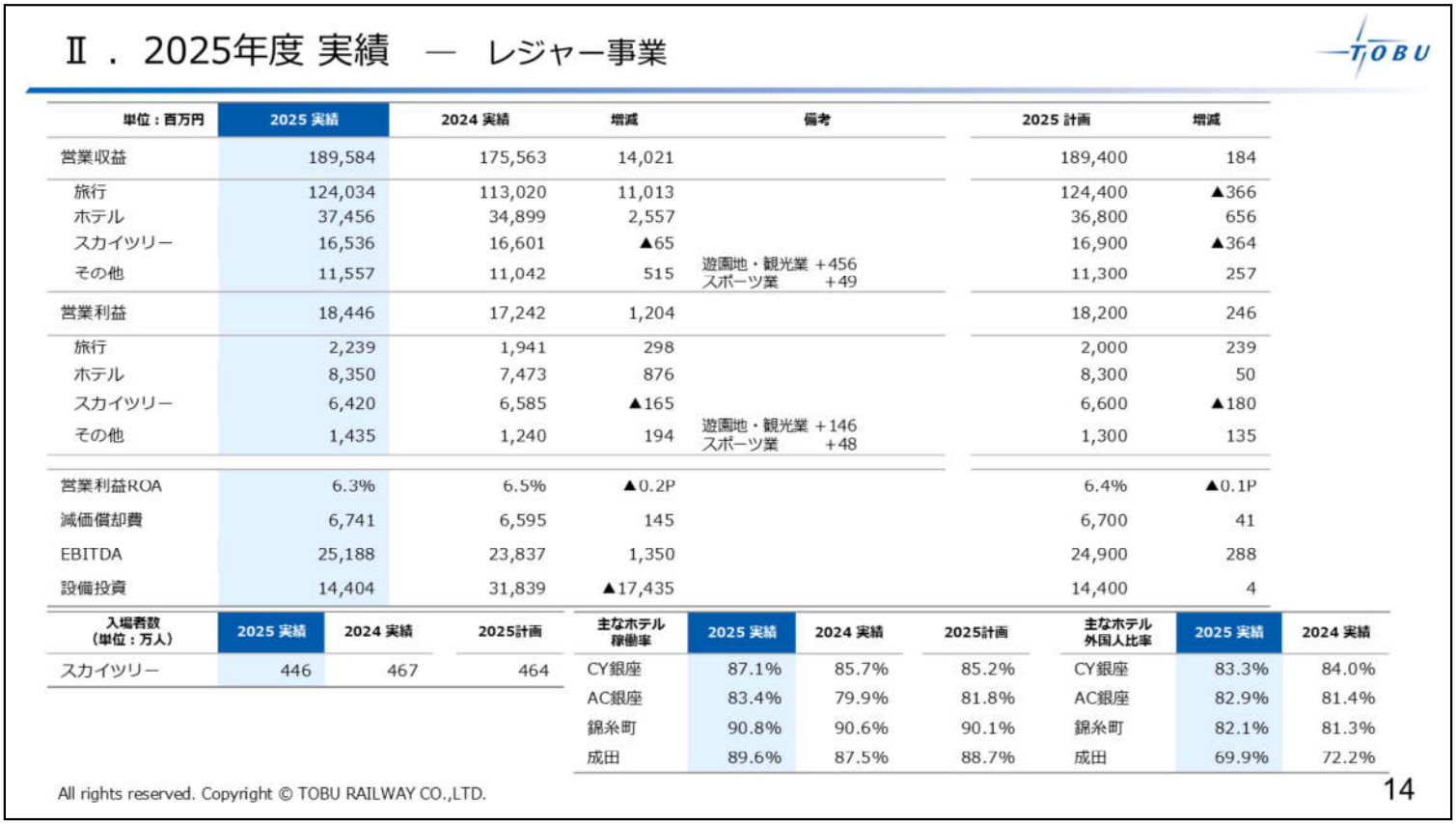
All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

13

13ページから、セグメント別の2025年度決算の状況でございますが、
ポイントを絞って補足説明をさせていただきます。

まず運輸事業でございます。

左下に東武鉄道の旅客人員を記載しております。
定期外、定期とも、対前年、対計画で増加しております。
特に、定期外におきましては、土・休日を中心に、都内方面やアーバンパークラインへの利用、
日光・鬼怒川方面への長距離利用が好調だったことなどによるものでございます。



Ⅱ．2025年度 実績 ― レジャー事業

単位：百万円	2025 実績	2024 実績	増減	備考	2025 計画	増減
営業収益	189,584	175,563	14,021		189,400	184
旅行	124,034	113,020	11,013		124,400	▲366
ホテル	37,456	34,899	2,557		36,800	656
スカイツリー	16,536	16,601	▲65		16,900	▲364
その他	11,557	11,042	515	遊園地・観光業 +456 スポーツ業 +49	11,300	257
営業利益	18,446	17,242	1,204		18,200	246
旅行	2,239	1,941	298		2,000	239
ホテル	8,350	7,473	876		8,300	50
スカイツリー	6,420	6,585	▲165		6,600	▲180
その他	1,435	1,240	194	遊園地・観光業 +146 スポーツ業 +48	1,300	135
営業利益ROA	6.3%	6.5%	▲0.2P		6.4%	▲0.1P
減価償却費	6,741	6,595	145		6,700	41
EBITDA	25,188	23,837	1,350		24,900	288
設備投資	14,404	31,839	▲17,435		14,400	4

入場者数（単位：万人）	2025 実績	2024 実績	2025計画
スカイツリー	446	467	464

主なホテル稼働率	2025 実績	2024 実績	2025計画
CY銀座	87.1%	85.7%	85.2%
AC銀座	83.4%	79.9%	81.8%
錦糸町	90.8%	90.6%	90.1%
成田	89.6%	87.5%	88.7%

主なホテル外国人比率	2025 実績	2024 実績
CY銀座	83.3%	84.0%
AC銀座	82.9%	81.4%
錦糸町	82.1%	81.3%
成田	69.9%	72.2%

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

14

14ページはレジャー事業でございます。

左下にスカイツリーの入場者数の記載がございます。
２月に発生しましたエレベーター事故により３日間臨時休業したほか、
営業再開後も、エレベーター１基については、メンテナンスのために、３月末まで運行を休止していた影響もあり、対前年・対計画ともに減少しております。
しかしながら、エレベーター事故の影響は一時的な要因と考えておりまして、需要自体は底堅いということでございます。

また、右には主なホテルの稼働率と外国人比率の記載がございます。
前年同様、稼働率は８～９割、インバウンド比率は７～８割となるなど、
高い水準を維持し、増収につなげがっておるところでございます。

Ⅱ．2025年度 実績 ― 不動産事業

単位：百万円	2025 実績	2024 実績	増減	備考	2025 計画	増減
営業収益	59,075	59,921	▲846		58,200	875
賃貸	36,498	36,339	159		35,800	698
タウン	13,913	13,295	618		13,800	113
分譲	8,662	10,286	▲1,623		8,600	62
営業利益	15,892	14,745	1,147		14,600	1,292
賃貸	10,694	9,736	957		10,000	694
タウン	3,886	3,638	247		3,800	86
分譲	1,311	1,369	▲58		800	511
営業利益ROA	4.3%	4.2%	0.1P		3.9%	0.4P
減価償却費	10,766	10,070	695		10,800	▲34
EBITDA	26,658	24,816	1,842		25,400	1,258
設備投資	27,976	14,185	13,791		27,200	776

来場者数（単位：万人）	2025 実績	2024 実績	2025 計画
スカイツリータウン	3,650	3,710	3,680

分譲販売戸数	2025 実績	2024 実績	2025 計画
戸建住宅	77戸	74戸	72戸
マンション	285戸	461戸	278戸
持分換算後分譲販売戸数			
戸建住宅	37戸	40戸	35戸
マンション	130戸	205戸	128戸

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

15

15ページ　不動産事業、
16ページ　流通事業、
17ページ　その他事業につきましては、
決算サマリでご説明させていただきましたので、後程、ご参照いただければと思います。

Ⅱ．2025年度 実績 ― 流通事業

	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]
営業収益	176,135	172,641	3,494		175,200	935
百貨店	63,480	61,321	2,159		63,500	▲20
ストア	75,025	74,478	547		74,900	125
その他	37,630	36,841	788		36,800	830
営業利益	6,004	7,558	▲1,553		5,500	504
百貨店	5,293	5,272	20		5,500	▲207
ストア	1,057	680	377		900	157
その他	▲346	1,605	▲1,951		▲900	554
営業利益ROA	4.2%	5.7%	▲1.5P		4.0%	0.2P
減価償却費	3,339	3,308	31		3,300	39
EBITDA	9,344	10,866	▲1,522		8,800	544
設備投資	5,494	4,759	735		5,800	▲306

主要百貨店 売上増減率	2025 実績 対前年	2025 計画 対前年
池袋	4.3%	4.8%
船橋	2.4%	1.5%
宇都宮	0.8%	1.0%

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

16

Ⅱ．2025年度 実績 ― その他事業

営業収益	92,645	87,290	5,355		91,800	845
営業利益	6,955	6,339	615		5,900	1,055
営業利益ROA	2.2%	2.2%	0.0P		2.0%	0.2P
減価償却費	1,625	1,623	2		1,600	25
EBITDA	8,580	7,963	617		7,500	1,080
設備投資	1,646	1,760	▲114		2,400	▲754

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ.２０２６年度 計画

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ．2026年度 計画 ― 連結損益計算書

単位：百万円	2026 計画	2025 実績	増減	備考
営業収益	673,000	655,435	17,565	運輸 +2,754 レジャー +9,616 不動産 +4,125 流通 ▲735 その他 +2,355
営業利益	72,000	71,861	139	運輸 ▲3,344 レジャー +854 不動産 ▲92 流通 +1,996 その他 +145
経常利益	63,500	68,831	▲5,331	
親会社株主に帰属する当期純利益	56,000	55,620	380	
売上高営業利益率	10.7%	11.0%	▲0.3P	
営業利益ROA※	3.8%	4.0%	▲0.2P	
ROE※	8.9%	9.5%	▲0.6P	

※ 営業利益ROA=連結営業利益÷｛(期首総資産＋期末総資産）÷2｝
※ ROE=親会社株主に帰属する当期純利益÷｛(期首自己資本＋期末自己資本）÷2｝

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

19ページをお願いいたします。
19ページからは、2026年度の計画についてのご説明でございます。

19ページ 連結損益計算書、
20ページ セグメント別営業収支につきましては、
先程、ご説明いたしましたので、21ページをお願いいたします。

Ⅲ．2026年度 計画 ― セグメント別営業収支

単位：百万円		2026 計画	2025 実績	増減	備考
運輸事業	営業収益	221,400	218,646	2,754	
	営業利益	24,300	27,644	▲3,344	
レジャー事業	営業収益	199,200	189,584	9,616	
	営業利益	19,300	18,446	854	
不動産事業	営業収益	63,200	59,075	4,125	
	営業利益	15,800	15,892	▲92	
流通事業	営業収益	175,400	176,135	▲735	
	営業利益	8,000	6,004	1,996	
その他事業	営業収益	95,000	92,645	2,355	
	営業利益	7,100	6,955	145	
調整額	営業収益	▲81,200	▲80,652	▲548	
	営業利益	▲2,500	▲3,081	581	
合計	営業収益	673,000	655,435	17,565	
	営業利益	72,000	71,861	139	

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ．2026年度 計画 ― 連結キャッシュ・フロー計画

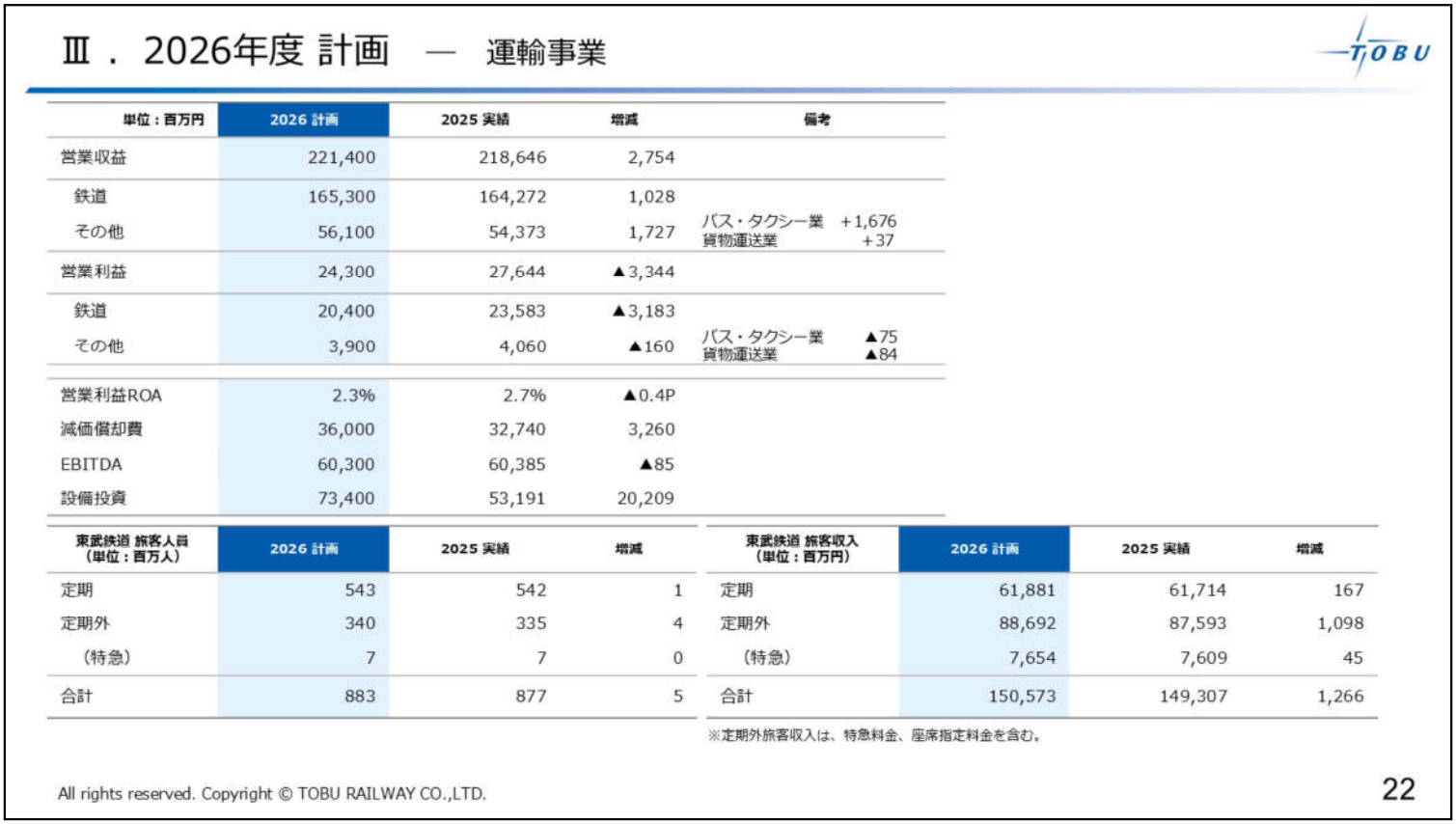
単位：百万円	2026 計画	2025 実績	増減	備考
EBITDA	131,000	127,075	3,925	
営業利益	72,000	71,861	139	
減価償却費	59,000	55,213	3,787	
有利子負債残高	800,000	789,673	10,327	
有利子負債/EBITDA倍率	6.1	6.2	▲0.1P	
設備投資	104,000	102,713	1,287	

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2026年度の連結キャッシュ・フローの計画でございます。

EBITDAは、 1,310億円、
期末の有利子負債残高は、 8,000億円、
有利子負債／EBITDA倍率は、 6.1倍を見込んでおります。

設備投資は、主に鉄道業における設備投資の増加などにより、
約12億円増の1,040億円を想定してございます。



Ⅲ．2026年度 計画 ― 運輸事業

単位：百万円	2026 計画	2025 実績	増減	備考
営業収益	221,400	218,646	2,754	
鉄道	165,300	164,272	1,028	
その他	56,100	54,373	1,727	バス・タクシー業 +1,676 貨物運送業 +37
営業利益	24,300	27,644	▲3,344	
鉄道	20,400	23,583	▲3,183	
その他	3,900	4,060	▲160	バス・タクシー業 ▲75 貨物運送業 ▲84
営業利益ROA	2.3%	2.7%	▲0.4P	
減価償却費	36,000	32,740	3,260	
EBITDA	60,300	60,385	▲85	
設備投資	73,400	53,191	20,209	

東武鉄道 旅客人員（単位：百万人）	2026 計画	2025 実績	増減
定期	543	542	1
定期外	340	335	4
（特急）	7	7	0
合計	883	877	5

東武鉄道 旅客収入（単位：百万円）	2026 計画	2025 実績	増減
定期	61,881	61,714	167
定期外	88,692	87,593	1,098
（特急）	7,654	7,609	45
合計	150,573	149,307	1,266

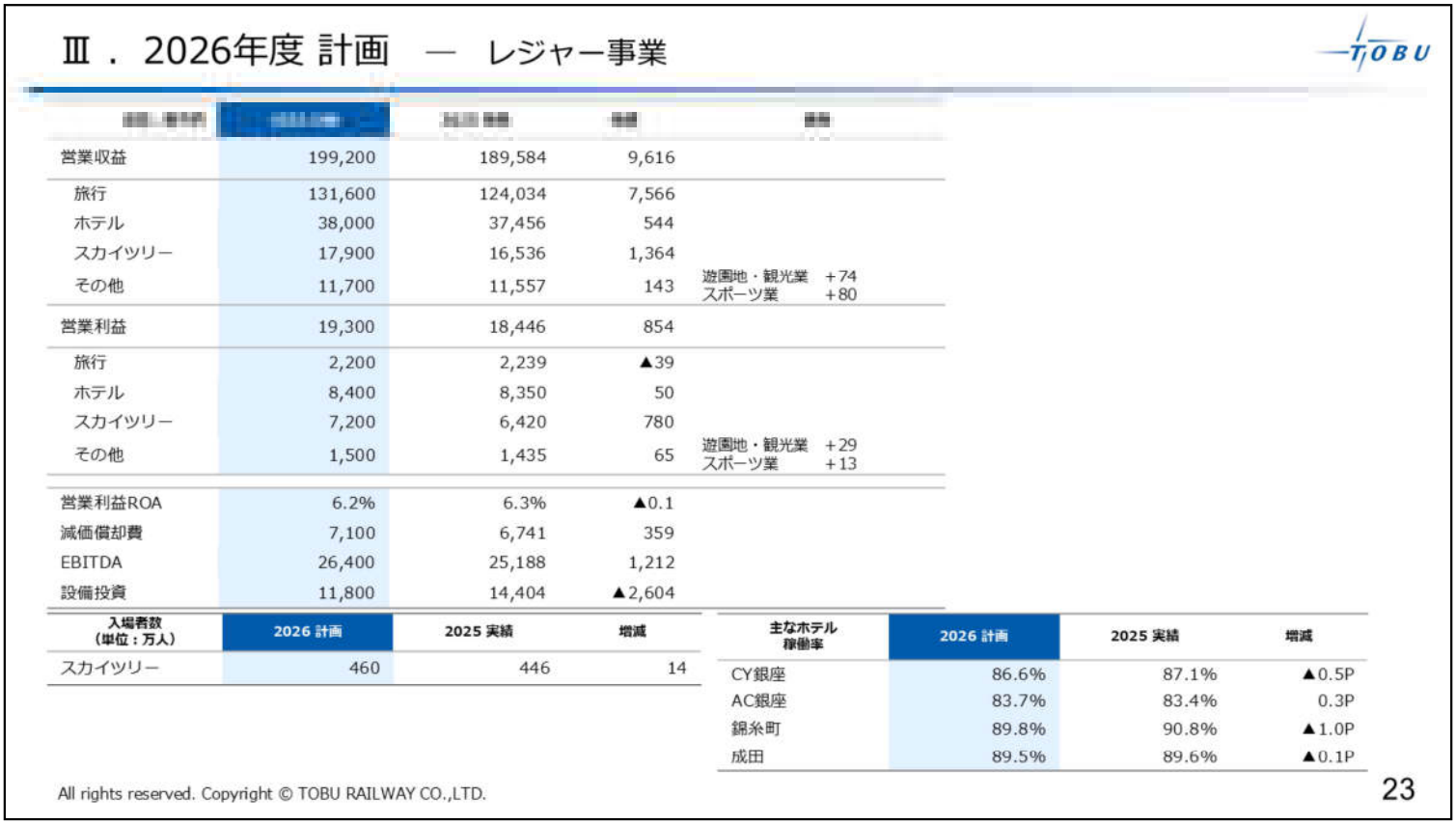
※定期外旅客収入は、特急料金、座席指定料金を含む。

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

22

22ページからは、セグメント別の2026年度計画でございます。
決算サマリでご説明をさせていただきましたとおりでございますので、後程、ご参照いただきたいと存じますが、
１点、補足説明をさせていただきます。

23ページをお願いいたします。



Ⅲ．2026年度 計画 ― レジャー事業

[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
営業収益	199,200	189,584	9,616	
旅行	131,600	124,034	7,566	
ホテル	38,000	37,456	544	
スカイツリー	17,900	16,536	1,364	
その他	11,700	11,557	143	遊園地・観光業 +74 スポーツ業 +80
営業利益	19,300	18,446	854	
旅行	2,200	2,239	▲39	
ホテル	8,400	8,350	50	
スカイツリー	7,200	6,420	780	
その他	1,500	1,435	65	遊園地・観光業 +29 スポーツ業 +13
営業利益ROA	6.2%	6.3%	▲0.1	
減価償却費	7,100	6,741	359	
EBITDA	26,400	25,188	1,212	
設備投資	11,800	14,404	▲2,604	

入場者数（単位：万人）	2026 計画	2025 実績	増減
スカイツリー	460	446	14

主なホテル稼働率	2026 計画	2025 実績	増減
CY銀座	86.6%	87.1%	▲0.5P
AC銀座	83.7%	83.4%	0.3P
錦糸町	89.8%	90.8%	▲1.0P
成田	89.5%	89.6%	▲0.1P

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

レジャー事業でございますが、左下にスカイツリーの入場者数を記載してございます。
2026年度はエレベーター事故の影響がなくなるということなどから、
インバウンドを中心に14万人の増加を見込み、460万人と計画しておるところでございます。

2025年度の実績と、2026年度計画のご説明は以上でございます。

Ⅲ．2026年度 計画 ― 不動産事業

営業収益	63,200	59,075	4,125
賃貸	40,600	36,498	4,102
タウン	13,900	13,913	▲13
分譲	8,700	8,662	38
営業利益	15,800	15,892	▲92
賃貸	10,900	10,694	206
タウン	3,900	3,886	14
分譲	1,000	1,311	▲311
営業利益ROA	4.1%	4.3%	▲0.2P
減価償却費	11,100	10,766	334
EBITDA	26,900	26,658	242
設備投資	8,900	27,976	▲19,076

来場者数（単位：万人）	2026 計画	2025 実績	増減
スカイツリータウン	3,548	3,650	▲102

分譲販売戸数	2026 計画	2025 実績	増減
戸建住宅	72戸	77戸	▲5戸
マンション	387戸	285戸	102戸
持分換算後分譲販売戸数			
戸建住宅	35戸	37戸	▲2戸
マンション	143戸	130戸	13戸

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅲ．2026年度 計画 ― 流通事業

営業収益	175,400	176,135	▲735
百貨店	62,500	63,480	▲980
ストア	72,600	75,025	▲2,425
その他	40,300	37,630	2,670
営業利益	8,000	6,004	1,996
百貨店	5,200	5,293	▲93
ストア	1,100	1,057	43
その他	1,700	▲346	2,046
営業利益ROA	5.3%	4.2%	1.1P
減価償却費	3,100	3,339	▲239
EBITDA	11,100	9,344	1,756
設備投資	7,600	5,494	2,106

主要百貨店 売上増減率	2026 計画 対前年
池袋	▲1.9%
船橋	1.4%
宇都宮	3.0%

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

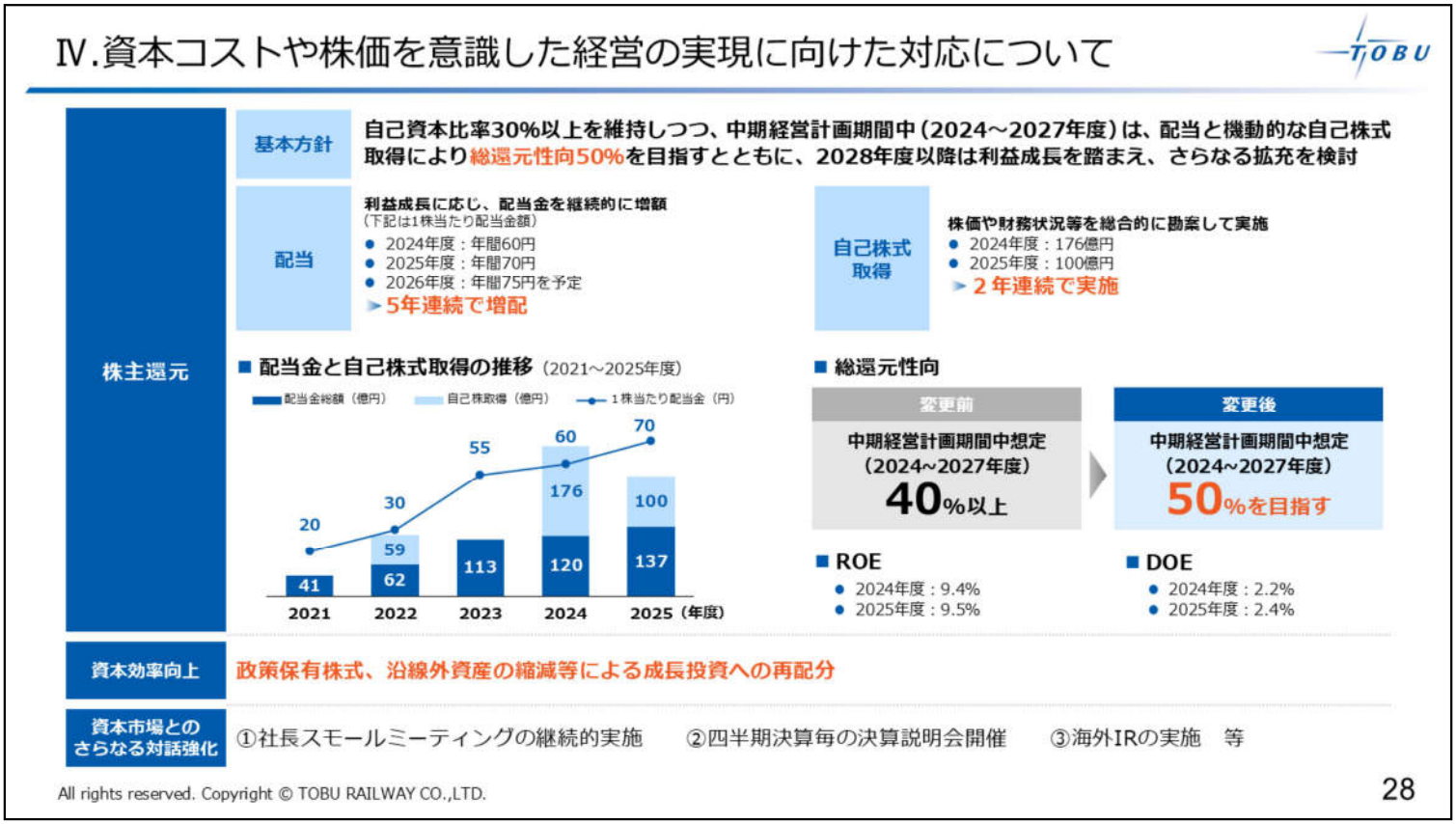
Ⅲ．2026年度 計画 ― その他事業

営業収益	95,000	92,645	2,355
営業利益	7,100	6,955	145
営業利益ROA	2.2%	2.2%	0.0P
減価償却費	1,700	1,625	75
EBITDA	8,800	8,580	220
設備投資	2,300	1,646	654

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

Ⅳ.資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

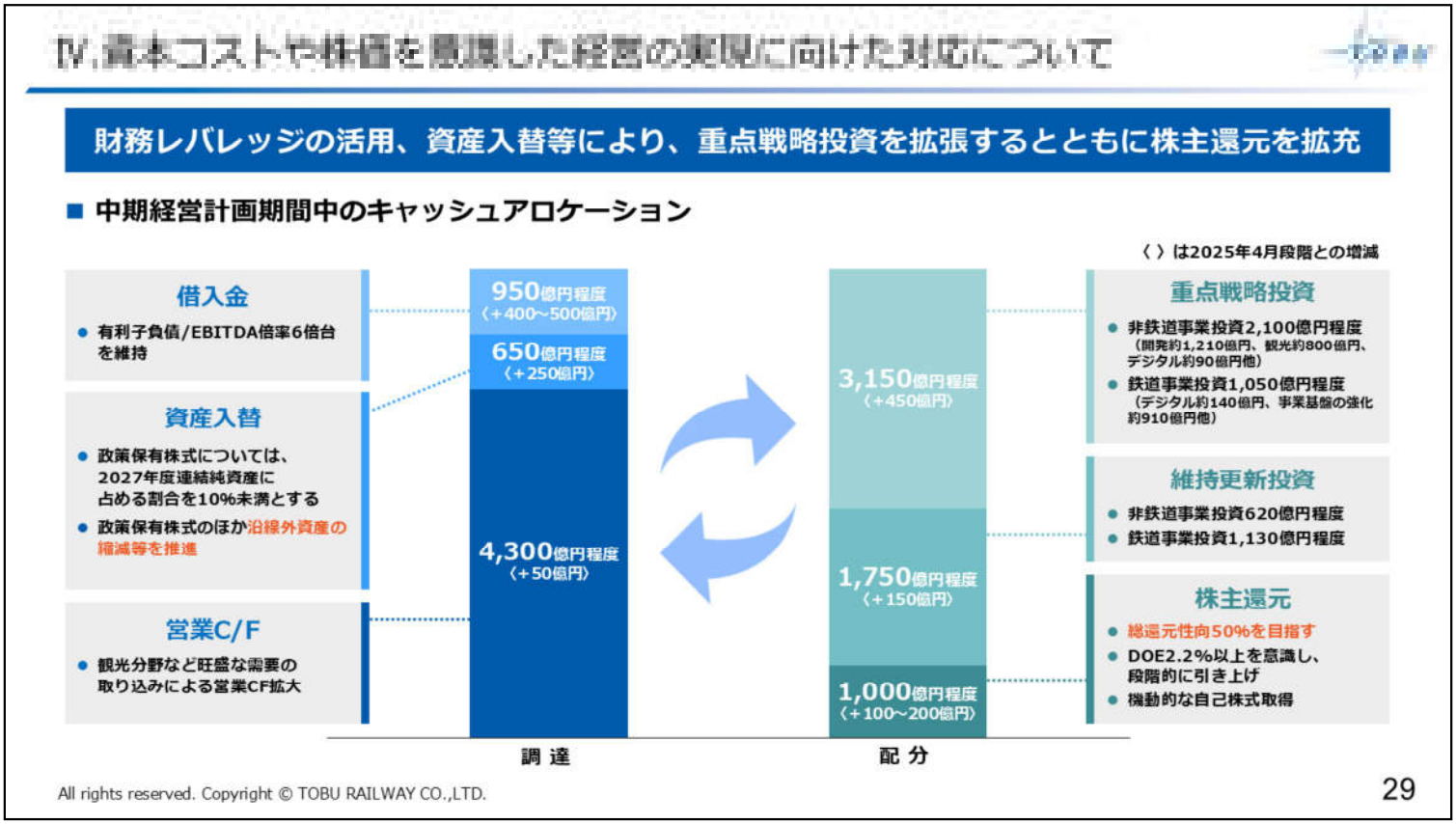


続きまして、28ページをご覧いただきたいと思います。
「資本コストや株価を意識した経営の実現」に向けた対応でございます。

この度、さらなる資本効率向上に向け、中期経営計画期間中の総還元性向に関し、
これまで「最低ラインを40%とする」としておりましたが、「50%を目指す」こととしまして、
併せて、政策保有株式に加え、沿線外資産の縮減も図り、そこで生み出したキャッシュを成長投資や株主還元に配分することといたしました。

なお、これまでも株主還元の基本方針に基づき、
配当に関しては段階的な引上げを実施し、かつ自己株式取得も着実に進めているところでございます。
その結果といたしまして、ＲＯＥやＤＯＥは目標を超える水準で推移しているところでございます。

そのほか、社長スモールミーティングの継続的な実施、四半期決算毎の説明会の開催、
海外ＩＲの実施等に取り組み、投資家の皆様との対話をさらに強化してまいります。



29ページをお願いいたします。今ご説明申し上げた点を踏まえて中期経営計画期間中のキャッシュアロケーションをアップデートいたしましたので、ご説明いたします。

ポイントとしては、財務レバレッジを活用することと併せ、政策保有株式や沿線外資産の縮減を通じてキャッシュを生み出し、成長投資や株主還元に振り向けてまいります。

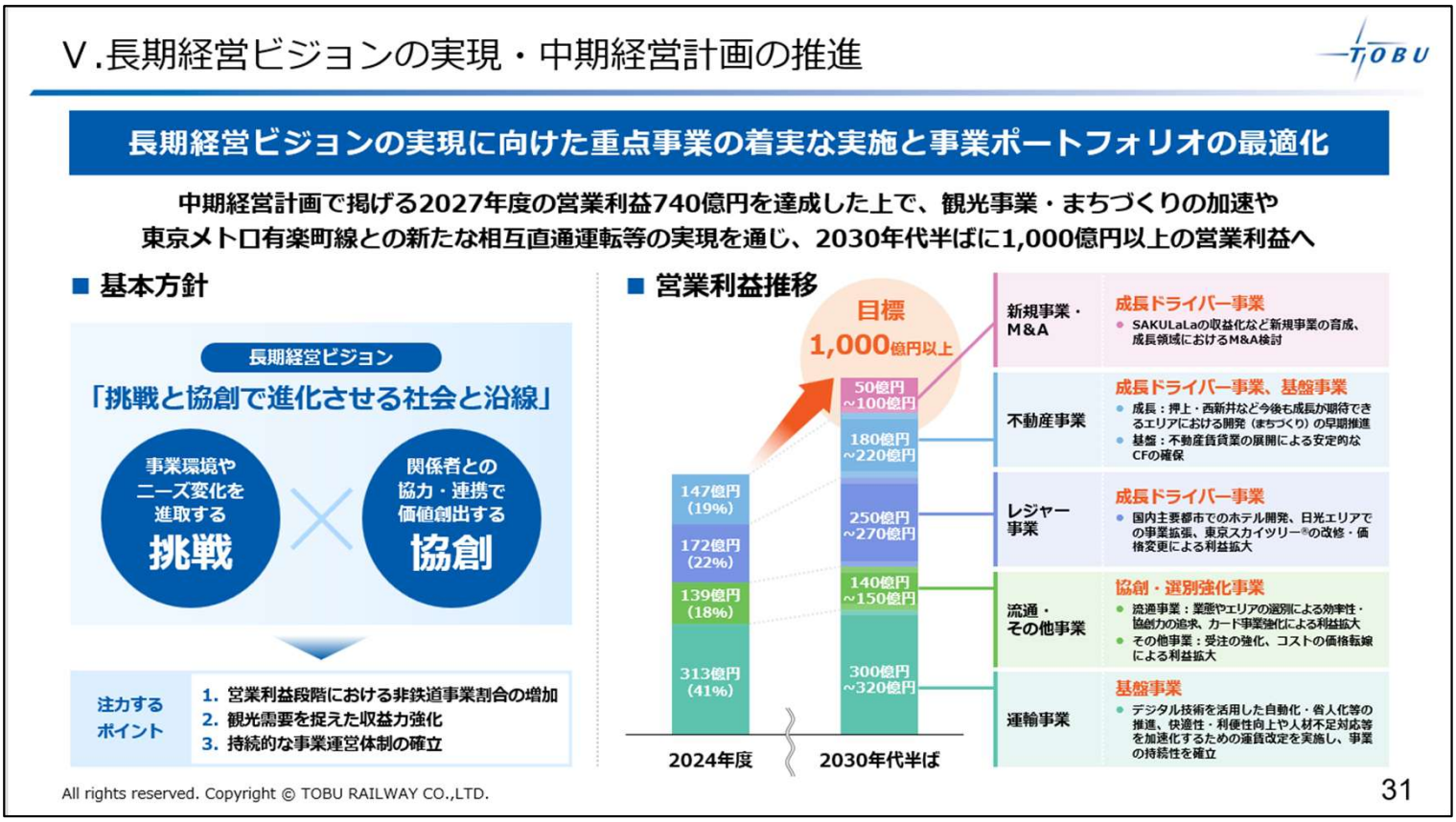
具体的には、右側記載の「配分」に関してでございますが、
重点戦略投資としまして、ホテル建設、まちづくり、鉄道の事業基盤強化のための投資を中心に、450億円増加させ、3,150億円まで拡張いたしました。
併せて、株主還元につきましても、総還元性向50%を目指し、1,000億円に拡充いたします。

成長投資の拡張に伴う将来の収益基盤強化と資本収益性向上、
株主還元の拡充を通じた自己資本圧縮等により、資本効率をさらに向上させてまいります。

Ⅴ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

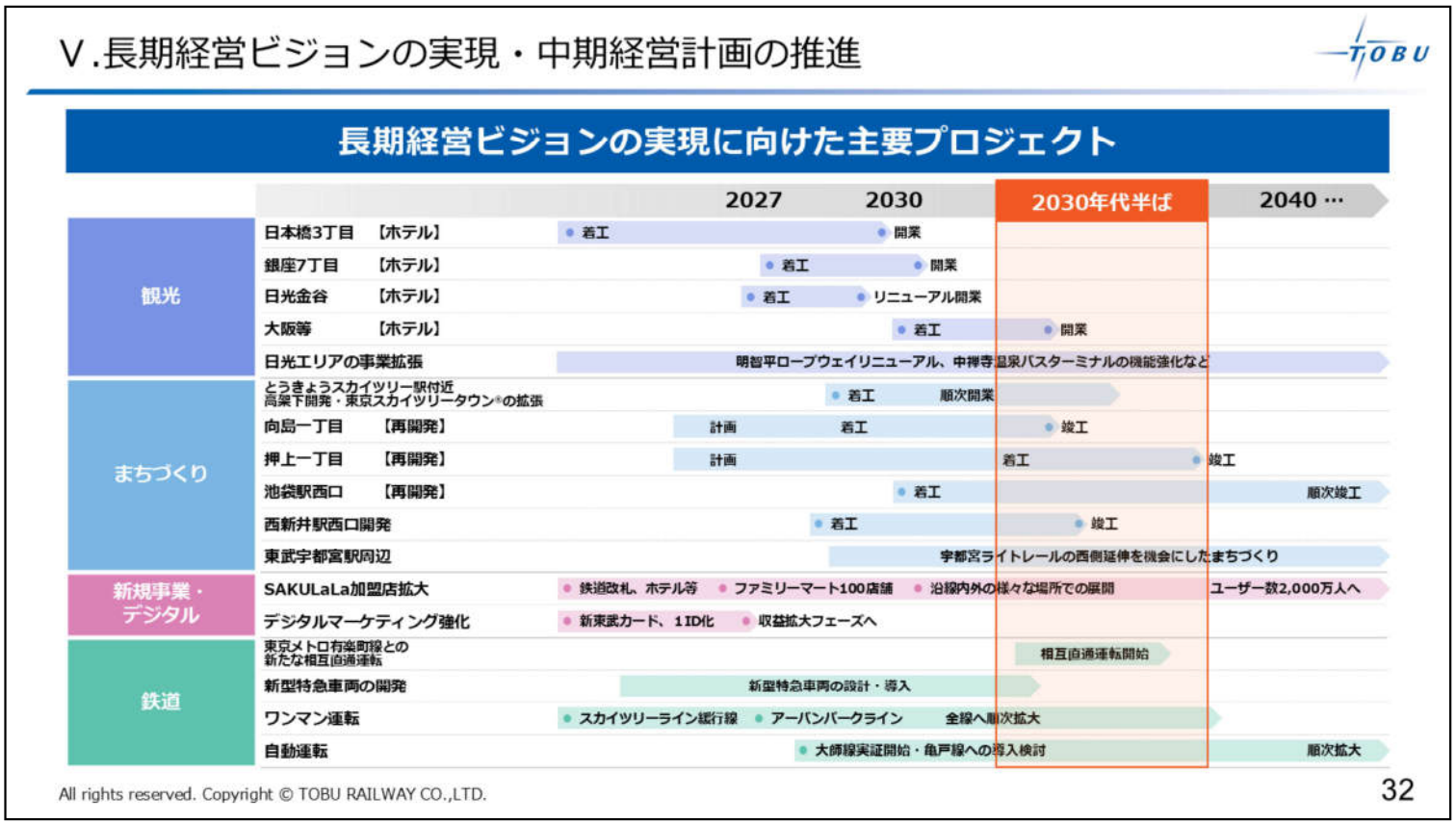
All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

30



31ページをお願いいたします。
ここからは、長期経営ビジョンの実現、中期経営計画の推進について、ご説明でございます。

31ページは、当社グループが掲げている長期経営ビジョンについて改めてご説明したものです。
左側の「挑戦と協創で進化させる社会と沿線」のもと、中期経営計画で掲げる2027年度の営業利益740億円を達成したうえで、2030年半ばに1000億円以上の営業利益とすべく、重点事業の着実な実施と事業ポートフォリオの最適化を図ってまいります。



32ページは、従前よりお示ししている長期経営ビジョンの実現に向けた主要プロジェクト一覧です。

特に今回は各プロジェクトを確実に推進させるとともに、デジタルマーケティングの強化も一覧に新しく取り入れ、後ほど説明いたします、新東武カードや１ID化を元に、収益拡大フェーズへと進展させてまいります。

主要プロジェクトの進捗につきましては、観光、まちづくり、新規事業・デジタル、鉄道の軸に沿って、この後ご説明いたします。



33ページは成長ドライバーの一つである観光でございます。

当社グループが積み上げたホテル運営ノウハウを結集し、単価と稼働をしっかりと確保できるエリアである、東京・大阪・博多での新規開業や、現存する日本最古のリゾートホテル「日光金谷ホテル」の大規模リニューアルに向け、計画を進めております。

2030年代半ばに向け、営業利益120億円を目指す成長ドライバーとして着実に計画を進展させてまいります。

Ⅴ.長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

観光

新たな価格戦略、魅力創出による東京スカイツリーの収益力・集客力向上

入場者数の平準化と混雑緩和を図るとともに単価増に繋げる変動価格制を導入

- インバウンドの増加等お客様の動向変化や多様な入場者特性を踏まえ、「平日/休日」「前売券/当日券」の種別を廃止
- シンプルに分かりやすく、日ごとで料金を設定する変動価格制を2026年4月1日より導入

5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1 ¥4,000	2 ¥4,400
3 ¥4,400	4 ¥4,400	5 ¥4,400	6 ¥4,000	7 ¥3,000	8 ¥3,200	9 ¥4,000
10 ¥4,000	11 ¥3,400	12 ¥3,400	13 ¥3,400	14 ¥3,400	15 ¥3,800	16 ¥4,000

※ 表示は大人料金（天望デッキ&天望回廊チケット）
※ 日付の赤文字は土休日、黒文字は平日

新たな魅力創出による収益向上

- 東京スカイツリーを真下から見上げ、地上で「天空の余韻」を味わえるカフェを2026年5月22日にOPEN



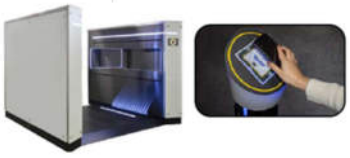
▲LOOK UP CAFE TOKYOSKYTREE　店内イメージ



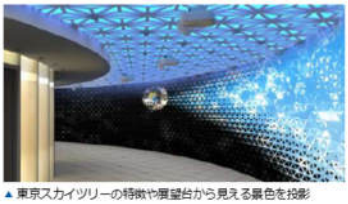
▲テラスから見上げる東京スカイツリー®

入場時の利便性向上・高揚感の演出

- WEB購入等で、発券窓口を経由せずダイレクトに入場いただける環境を整備



- エレベーター乗車前から期待感を高める演出



▲東京スカイツリーの特徴や展望台から見える景色を投影

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

34ページは観光のうちスカイツリーでございます。

この4月より変動価格制へ移行いたしました。
入場者数の平準化と混雑緩和を図り、さきほどの2026年度の計画でもお示ししました通り、着実に収益の柱としてまいります。
同時に、価格以上の体験をお届けできるよう、コンテンツの充実もさせてまいります。



35ページは、観光のうち、日光における取り組みでございます。

当社グループの重要な観光資源を活かし、持続可能な地域づくりを通じて、ブランド力・収益力の強化を図っております。

収益力強化の面では、受入れ余力のある冬の奥日光への誘客を加速させるとともに、さらなる受け入れ環境の整備を進めております。

持続可能な地域づくりの面では、グループ連携による「バイオディーゼル」の地産地消モデルに加え、CO2削減にも寄与する「いろは坂の混雑緩和」を目指した官民連携の取り組みを実施いたしました。

地域の課題解決と当社グループの成長の両立を図ってまいります。



36ページは、観光需要の創出に向けた取り組みでございます。

「グループインバウンド収益」については、2025年度で300億円を突破する勢いとなりました。ホテルやスカイツリー、鉄道といった各アセットの「高付加価値化」を図るアップセルと、グループシナジーを活かしたクロスセルを強力に推進しております。
台湾をはじめとする重点市場でのプロモーションを強化し、今後もこの成長軌道を確かなものにしてまいります。

また、東武動物公園の隣接地におけるグランピング施設の開業など、グループ連携による「滞在型観光」の魅力向上も推進しております。

商品力と体験価値を磨き上げ、観光を通じた持続的な成長を実現してまいります。



37ページからは、成長ドライバーの2つ目である「まちづくり」の進捗についてです。

東京スカイツリータウンについては、周辺エリアを含めたさらなる価値向上が期待される中、「高架下」「向島一丁目」「押上一丁目」の3エリアにおいて拡張計画を推進しております。
タウンの東側に位置する「押上一丁目エリア」においては、本年3月に準備組合が設立されました。

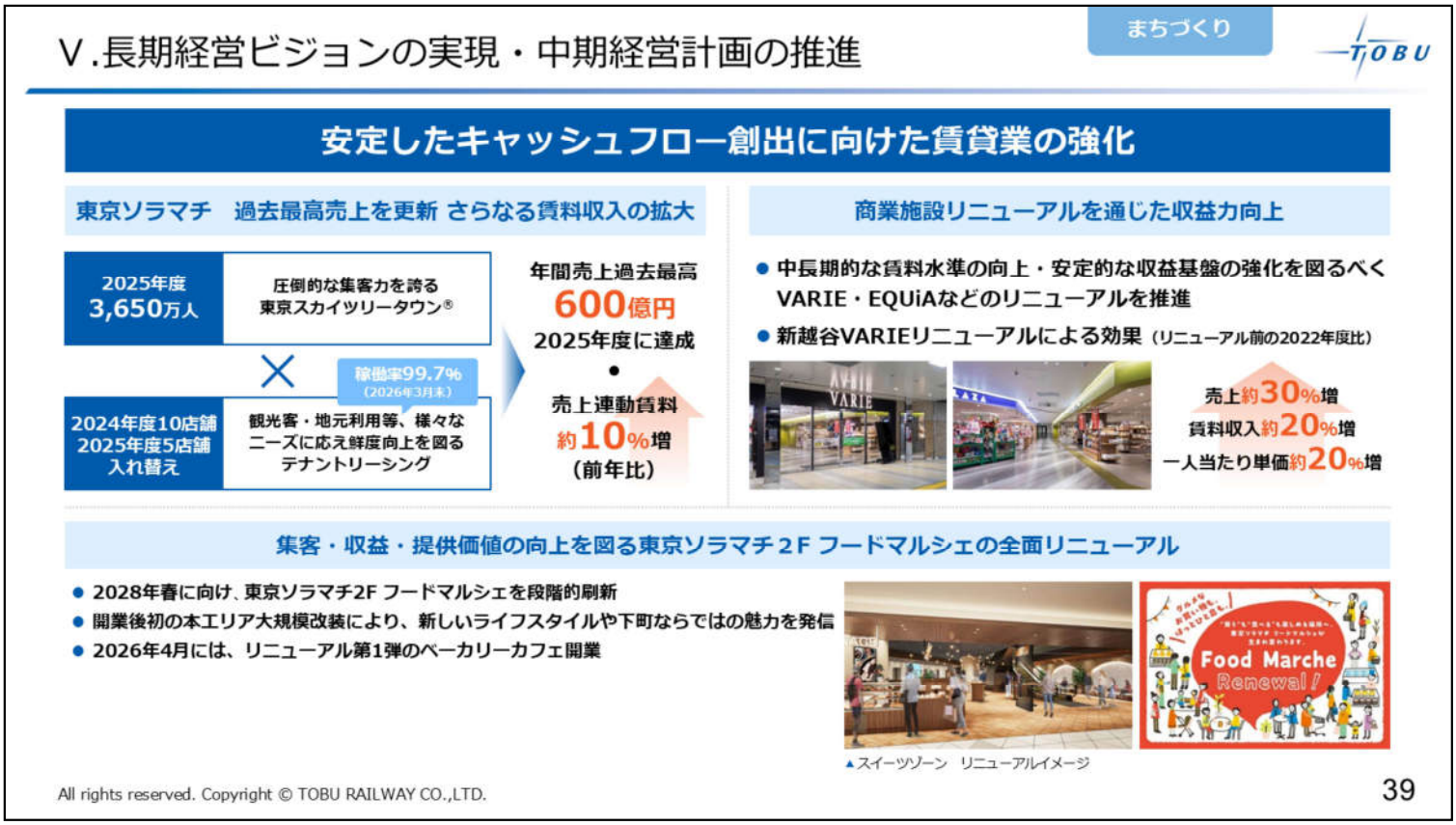
スカイツリータウンが持つポテンシャルを最大限に引き出し、集客力をエリア拡大につなげるとともに、グループシナジーを追求することで、さらなる成長の実現に向けた「面的な拡張」を加速させてまいります。



38ページは、当社一大プロジェクトでございます池袋駅西口再開発の推進についてです。

本エリアの計画は、東上線池袋駅直上の現在東武百貨店があるエリアと、その西側に広がる組合施行街区とがございます。当社単独施行街区については、施工会社は内定しており、2027年度の事業認可に向け、検討を深度化しております。

池袋を起点とした、東上線全体のバリューアップのためにも、本プロジェクトをしっかりと推進してまいります。



39ページは、賃貸業の取り組みです。
先ほどご紹介いたしました東京スカイツリータウンの商業施設「東京ソラマチ」は、繰り返しになりますが2025年度に過去最高売上である600億円を達成いたしました。賃貸収入を押し上げ、賃貸業における強固な柱となっております。
開業から14年間で培った圧倒的な集客力に甘んじることなく、テナントリーシングによる「鮮度向上」を継続してきた結果と自負しているところでございます。

また、ソラマチのみならず、商業施設の「VARIE（ヴァリエ）」や「EQUiA（エキア）」のリニューアルも順次推進してまいりました。

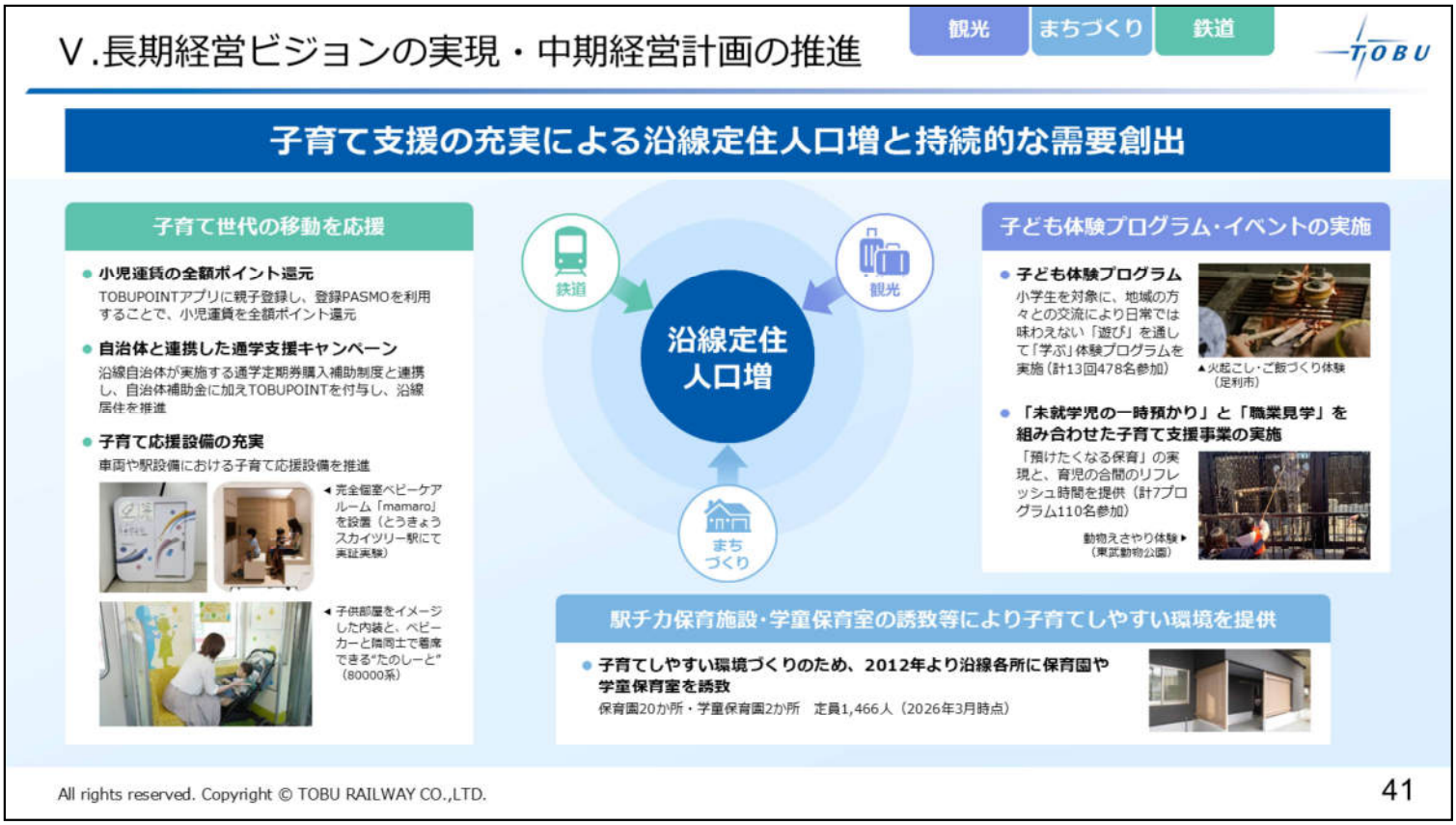
これらの成功体験を活かし、現在はソラマチ2階の「フードマルシェ」のリニューアルに着手しており、収益の柱をさらに盤石なものとしてまいります。



40ページは、分譲業についてでございます。

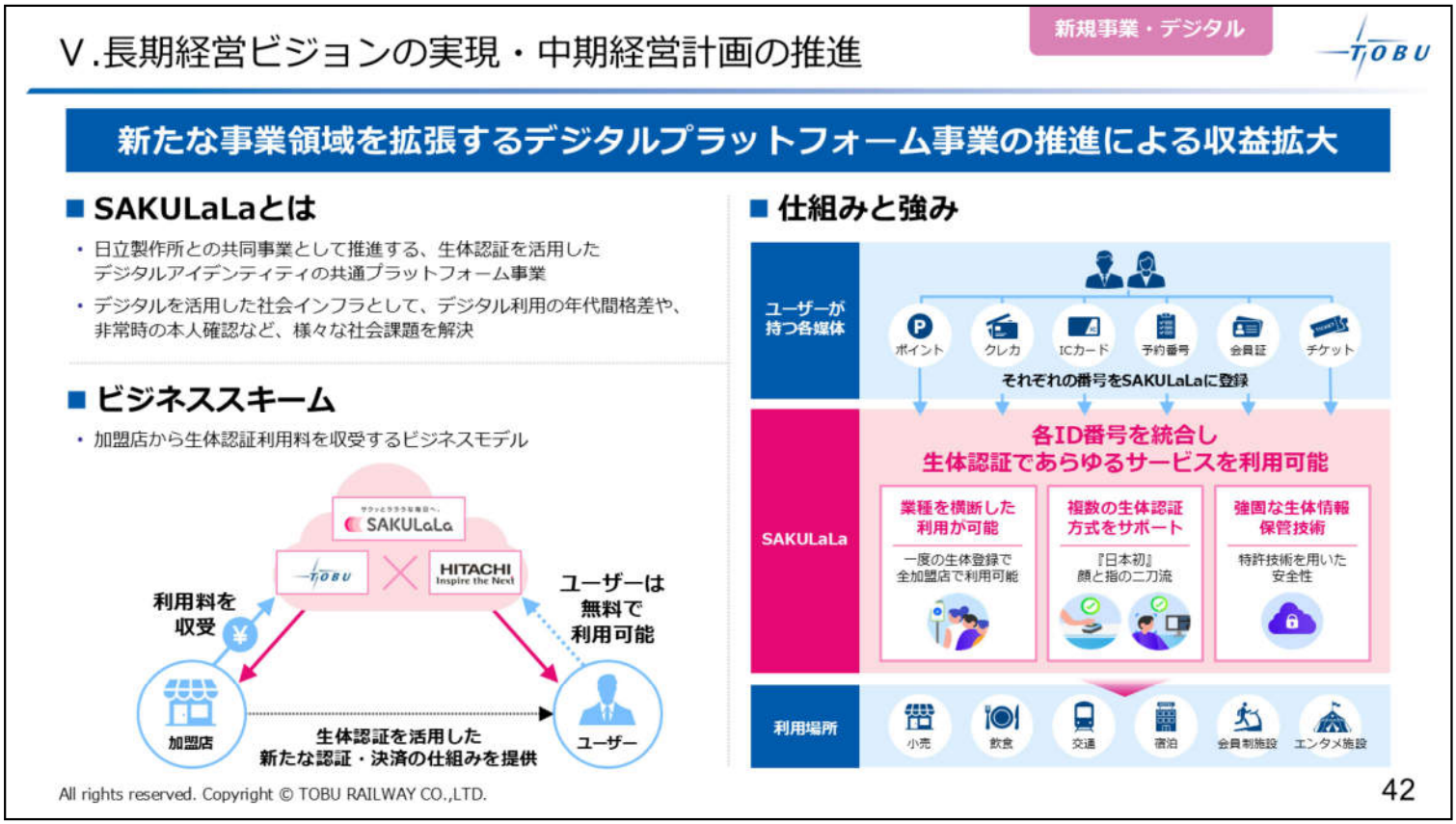
2027年度から2030年度にかけて、マンションや戸建住宅の計画を拡大し、継続的な利益を創出してまいります。
加えて、新たな収益源の開拓といたしまして「短期投資回収ビジネス」にも着手しており、物件の建設から売却までを短期間で完結させる事業モデルにも取り組んでおります。

これらの取り組みを通じて、エリアの成長と沿線人口の増加を図り、グループ全体の持続的な成長につなげてまいります。



41ページは、まちづくりや観光、鉄道とを組み合わせた、子育て支援の積極的な取り組みの紹介です。

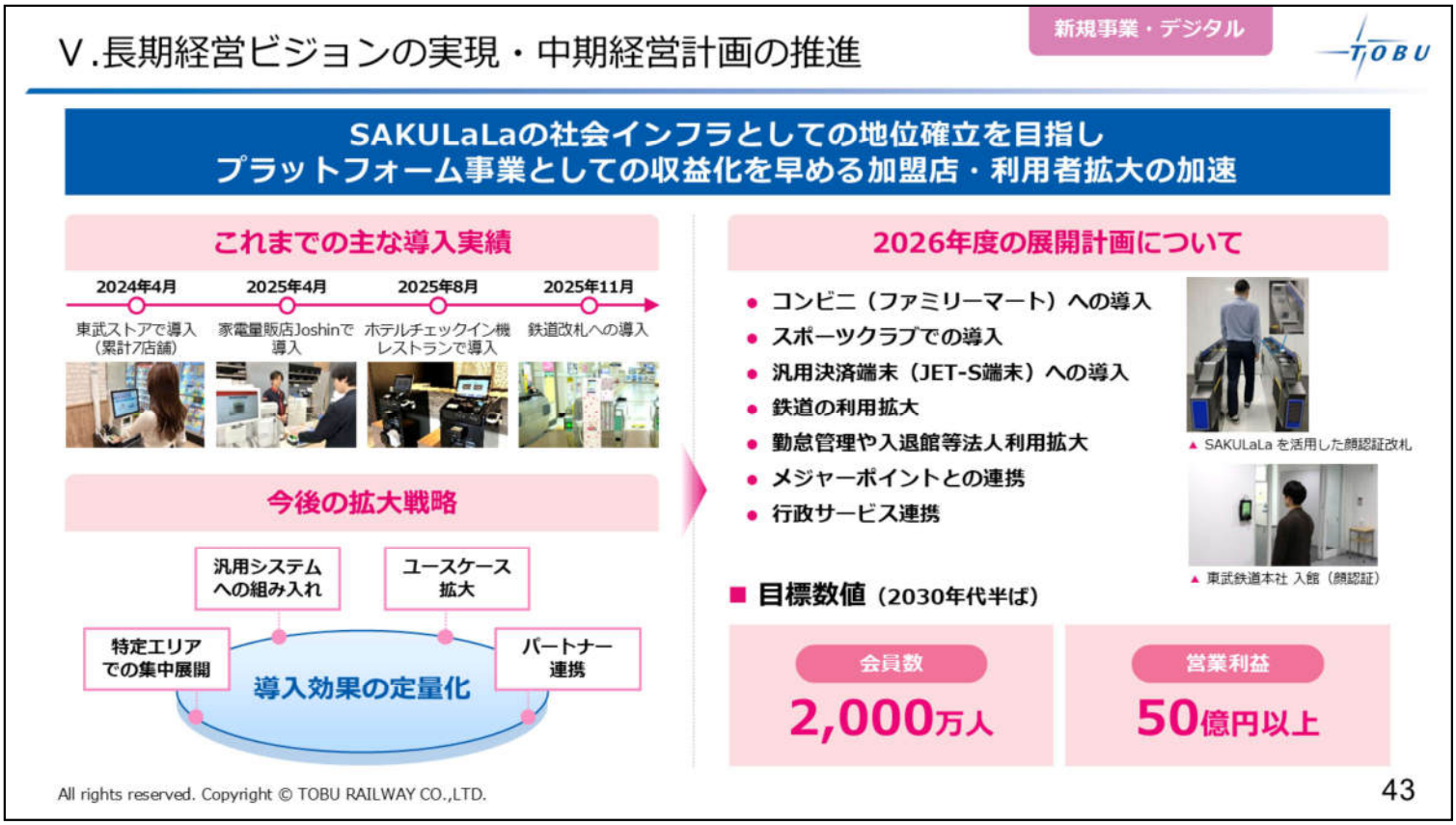
子育て世代の移動を応援する「鉄道」、駅チカ保育施設・学童保育施設の誘致をおこなう「まちづくり」、子育て体験プログラムなどに取り組む「観光」面とを組み合わせ、沿線定住人口の増加と、持続的な需要創出につなげてまいります。



42ページからは、新規事業・デジタルに関する取り組みのご紹介です。

まずは新たな事業領域拡張を進めている、プラットフォーム事業、　SAKULaLa　でございます。
スキームや、仕組み・強みを改めて整理いたしました。

SAKULaLaは、日立製作所との共同事業として推進しております。
ポイントやクレジットカード、会員証など、ユーザーがお持ちのさまざまなIDと顔や指静脈といった生体情報をSAKULaLaに登録することで、顔や指をかざすだけでそのサービスをご利用いただけることが、他にはない大きな強みでございます。



43ページですが、このサービスは、利用か所を増やすべく、東武ストアやホテルに展開するとともに、家電量販店Joshin様にもポイントカード番号の確認手段としてご採用いただきました。
昨年11月には、顔認証を鉄道改札に導入、日常利用をさらに便利にする段階へと進めております。

今後会員数を増やし利用を定着させ、プラットフォーム事業として育てることを見据え、コンビニへの導入、汎用決済端末への導入を進めるとともに、鉄道利用エリアの拡大を図ります。
メジャーポイントとの連携も協議しており、社会インフラとしての地位の確立を目指し、加盟店・利用者拡大を加速してまいります。



44ページでお示しします「新東武カード」や「１ID化」は、デジタル戦略において重要な位置づけと考えております。

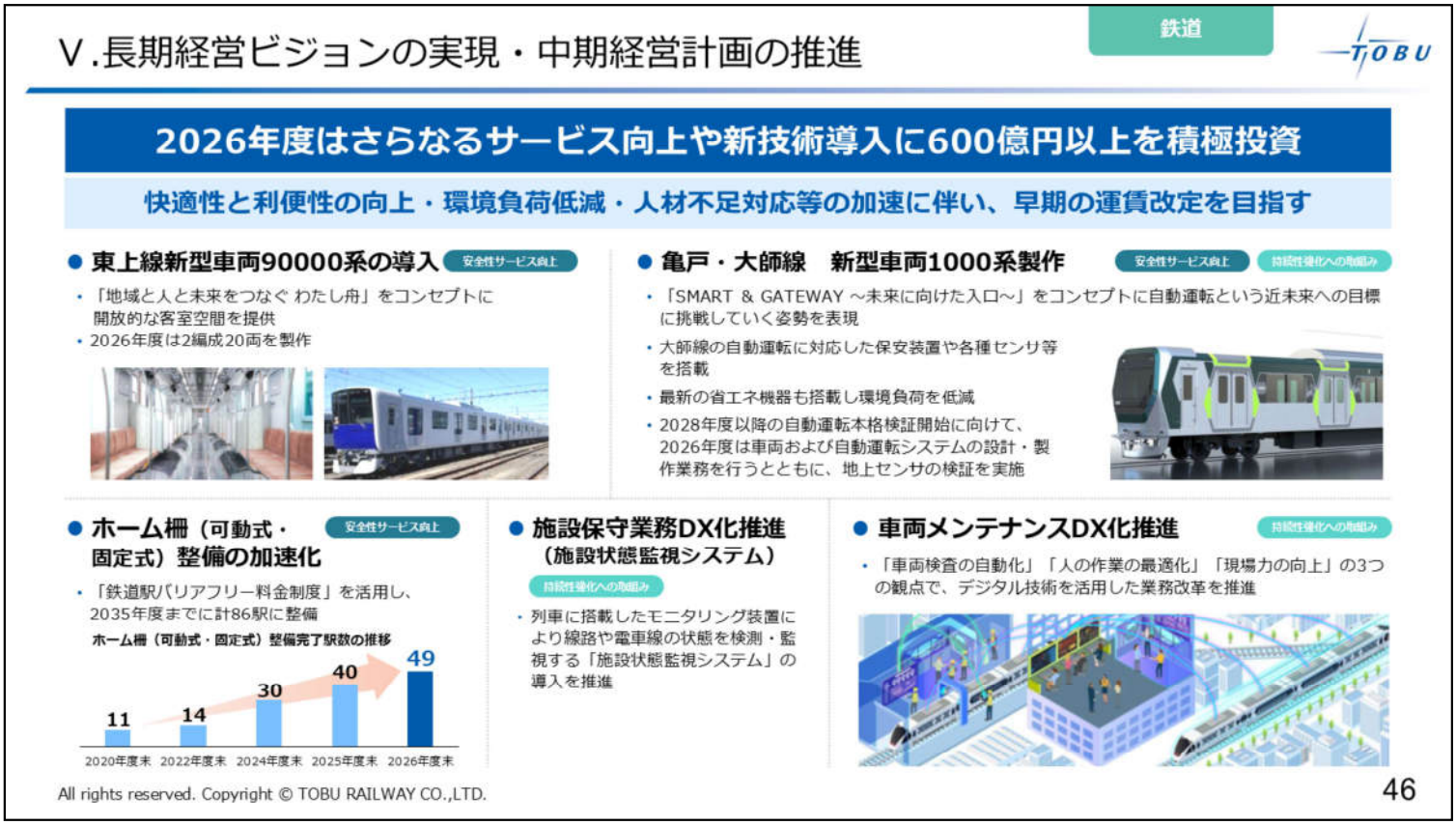
新東武カードは昨年5月の発行開始以来、機能やサービスをご支持いただき、従来のカードと比較して稼働率や単価が大幅に上昇しております。
新規会員の約70%を50歳代以下が占めており、手数料を伴う支払い方法の取扱高も増加、これを今年度以降の利益拡大に向けた重要な布石としてまいります。

また、グループ顧客基盤の強化と送客の最大化を目指した、TOBU POINTを軸とした「1ID化」を推進しております。お客様が一つのIDで多様なサービスを享受できる仕組みを構築してまいります。

これらの施策を強力に牽引するため、2026年4月に専属部署を設立いたしました。デジタル領域における相乗効果を最大化させてまいります。



45ページ・46ページは鉄道の取り組みです。
鉄道は当社グループの基盤事業でございます。収益の拡大に加え、安全性・サービス向上や持続性強化への取り組みにむけて投資を拡大していきます。



46ページでございますが、鉄道事業への投資は2026年度、600億円以上を予定しており、サービス向上や新技術の導入を強力に推進してまいります。

東上線の新型車両「90000系」は今年度より営業運転を開始し、サービス向上とエネルギー使用量の削減を実現いたします。
亀戸線・大師線用の新型車両についても製作を開始し、大師線で計画しております自動運転に対応した仕様としております。将来的な労働力不足を見据え、自動運転システムの設計も着実に進めております。

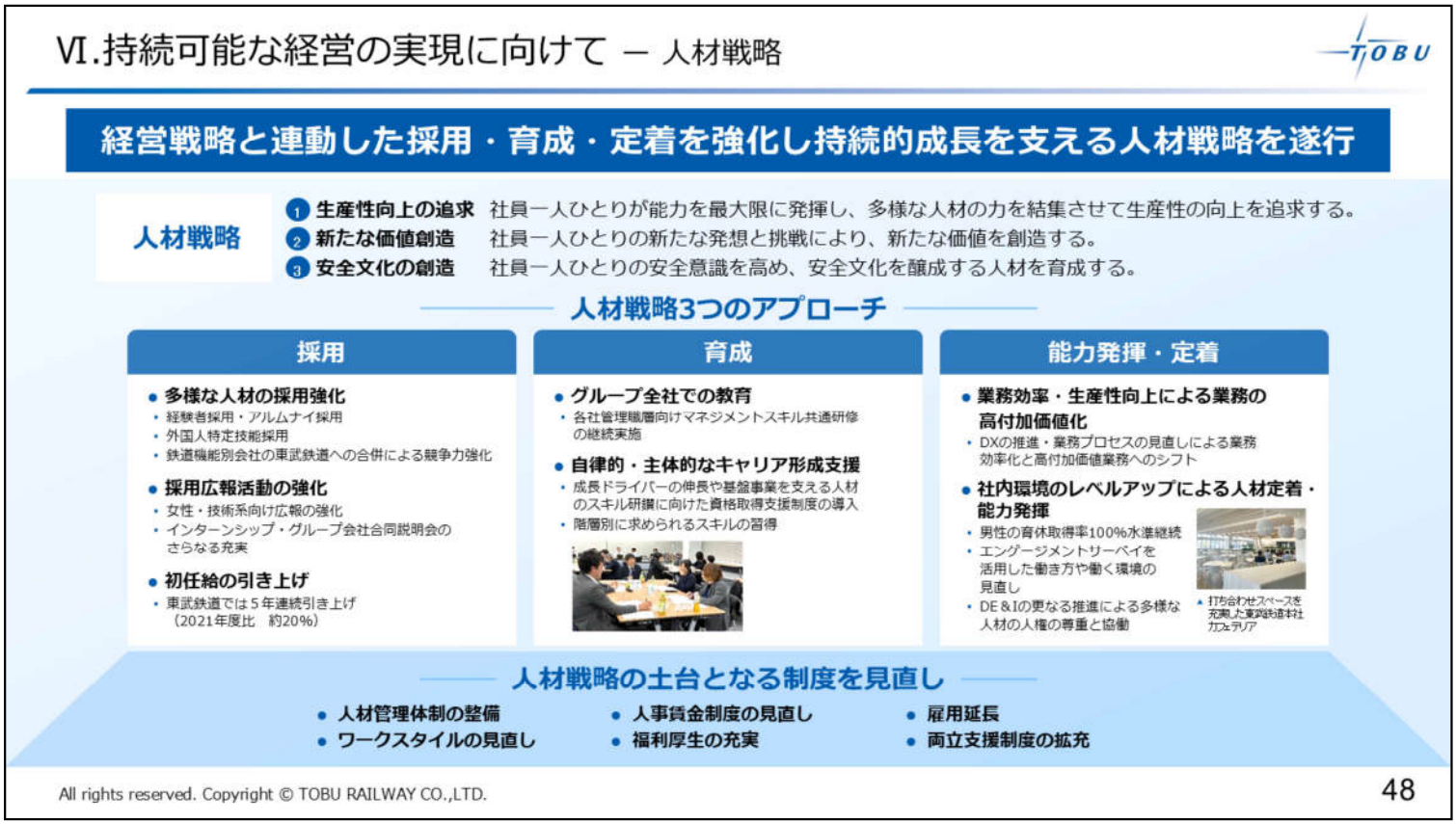
安全性をさらに向上させるホーム柵については、2035年度までに86駅への整備を完了すべく、計画通りに進めてございます。
あわせて、施設状態の監視システムや車両メンテナンスのDX化を推進し、デジタル技術の活用による生産性の向上を図ってまいります。

これらの投資は単なるコスト増ではなく、快適性や安全性の向上に加え、環境負荷低減や人材不足への対応など、鉄道業の持続可能性を確保するために不可欠な先行投資であると考えております。このため必要な費用を賄うためにも、運賃改定の早期実現を目指してまいります。

Ⅵ.持続可能な経営の実現に向けて

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

そして、東武グループの持続的な経営の実現に向けた、人材戦略と環境負荷低減についてですが、48ページをお願いいたします。



48ページは「人材戦略」についてでございます。

当社グループが持続的に成長するためには、その担い手である人材戦略を、経営戦略と密接に連動させていくことが不可欠と考えており、「生産性向上の追求」「新たな価値創造」「安全文化の創造」という3つの柱を掲げ、採用、育成、能力発揮・定着の各フェーズにおいて取り組みを強化しております。

具体的には、採用面での多様な人材の確保や初任給の引き上げ、育成面でのグループ共通研修や自律的なキャリア形成支援、そして能力発揮・定着面ではDX推進による「業務の高付加価値化」へのシフトなどを進めております。

これらに人事制度の見直しを組み合わせることで、持続的な成長を支える人材基盤を構築してまいります。



49ページは環境負荷低減の取り組みです。
持続可能な社会の構築と企業の成長とを両立する観点から、CO2排出量の削減に取り組んでおります。
鉄道事業においては、今年度より、範囲を広げ全線で非化石証書を導入し、電車運行に関わるCO2排出量を実質ゼロといたしました。また、CO2排出量実質ゼロの電力プランをグループ各社に展開しております。
これらの取り組みにより、2024年度で約50万トンであったCO2排出量のうち約31万トンを実質的に削減、当社グループの2030年度の排出量目標を早期に達成できる見込みとなっております。

加えて、再生可能エネルギーを新たに作り出すべく事業にも出資し、完成後はその電力を鉄道事業などで使用する予定でございます。

これからも、持続可能な社会の構築と企業の成長の両立を進めてまいります。

以上が資料の説明となります。どうぞよろしくお願いいたします。

appendix

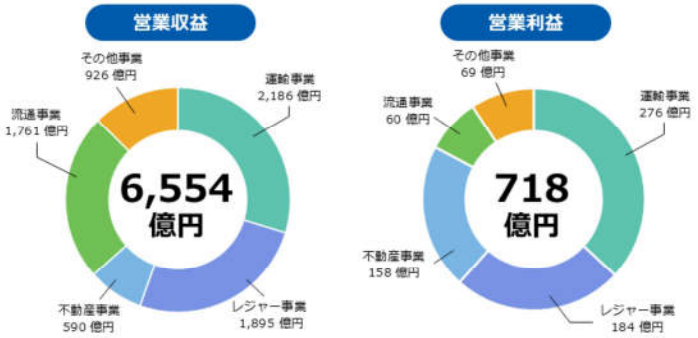
All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

appendix ー 会社概要

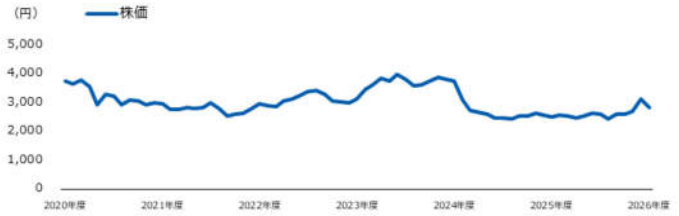
■ 会社概要

社名	東武鉄道株式会社 （TOBU RAILWAY CO.,LTD.）
設立	1897（明治30）年11月1日
本店所在地	〒131-8522 東京都墨田区押上一丁目1番2号
本社事務所	〒131-8522 東京都墨田区押上二丁目18番12号
資本金	1,021億3,597万1,747円
連結従業員数	18,148人
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで

■ 東武グループ経営状況



■ 株価推移



※2026年3月31日現在

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

appendix ー 事業概要

運輸事業

- 鉄道業、バス・タクシー業、貨物運送業
- 輸送の安全を第一に、きめ細かな行き届いたサービスの提供と、ワンランク上の物流サービスを展開



主なグループ会社

・東武鉄道　・東武バス　・東武デリバリー
・朝日自動車　・東武運輸

レジャー事業

- 旅行業、ホテル業をはじめ、遊園地・テーマパーク、スキー、ゴルフ、スポーツクラブ、ロープウェイ、遊覧船などを運営し、お客様の非日常を盛り上げる多様なニーズにお応え



主なグループ会社

・東武鉄道　・東武トップツアーズ　・東武タワースカイツリー
・東武興業　・東武ホテルマネジメント

不動産事業

- 不動産分譲・賃貸・仲介業、 建物・施設管理業
- 良質な不動産の提供や不動産・財産の最適活用のコンサルティング、「東京ソラマチ」の商業運営を遂行



主なグループ会社

・東武鉄道　・東武不動産　・東武タウンソラマチ

流通事業

- 百貨店業、ストア業
- ターミナル駅の特性を活かした都市型百貨店を展開するとともに、東武ストアでは「地域で一番買いやすい店づくり」を目指し、店舗価値向上を推進



主なグループ会社

・東武百貨店　・東武マーケティング　・東武商事
・東武宇都宮百貨店　・東武ストア

その他事業

- 建設、施設設備管理、建材供給、熱供給業
- グループ各社が連携しながら、安心して住み続けられるまちづくりに貢献



主なグループ会社

・東武建設　・東武谷内田建設　・東武ビルマネジメント

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

※2026年3月31日現在

appendix ー 数字で見る東武鉄道

■ 数字で見る東武鉄道

鉄道営業キロ	関東民鉄 No.1 463.3km
旅客駅数	205駅
鉄道車両数	1,772両
輸送人員	8.8億人/年

■ 路線図



※2026年3月31日現在

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

appendix ー 東武グループの主な施設

■ 観光施設

施設名	所在地
東京スカイツリー	東京都墨田区
東武動物公園	埼玉県南埼玉郡宮代町
東武ワールドスクウェア	栃木県日光市


▲ 東武動物公園ホワイトタイガーの赤ちゃん（左：コタ右：ハク）


▲ 東京スカイツリー®



▲ 東武ワールドスクウェア

■ ホテル

施設名	客室数
コートヤード・マリオット銀座東武ホテル	196
ACホテル・バイ・マリオット東京銀座	296
東武ホテルレバント東京	383
成田東武ホテルエアポート	484
宇都宮東武ホテルグランデ	149
品川東武ホテル	190
渋谷東武ホテル	205
浅草東武ホテル	253
和光市東武ホテル	158
川越東武ホテル	168
ザ・リッツ・カールトン日光	94
フェアフィールド・バイ・マリオット札幌	254
上尾東武ホテル	84
仙台国際ホテル	234
日光アストリアホテル	63
蔵王アストリアホテル	53
日光金谷ホテル	63
中禅寺金谷ホテル	57


▲ コートヤード・マリオット銀座東武ホテル


▲ 日光金谷ホテル

■ 百貨店

支店名	運営会社
池袋店	（株）東武百貨店
船橋店	
宇都宮店	（株）東武宇都宮百貨店
大田原店	
栃木市役所店	


▲ 東武百貨店池袋店

■ ストア

展開地域	店舗数	運営会社
東京都	23	（株）東武ストア
埼玉県	23	
千葉県	12	



▲ 東武ストア竹ノ塚店

■ ショッピングセンター

施設名	店舗数
東京ソラマチ	311
新越谷ヴァリエ	95
草加ヴァリエ	60
浅草エキミセ	30
エキアプレミエ和光	29


▲ 東京ソラマチ（東武タウンソラマチ）

※2026年3月31日現在

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

当該資料に関する注意事項

この配布資料に記載されている利益等の計画値については、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通し等、国内および諸外国の経済状況その他業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報を基にした予想を前提としています。
従って、実際の業績は経営環境等の変化に伴い、この配布資料に記載されている見込値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

55